

おのきた

尾北校長室から

第5号

Pie in the sky ~ 夢に日付を ※ Pie in the sky : 絵に描いた餅



イソップ寓話に登場するウサギとカメ——ある時、ウサギから歩みの鈍さを言われたカメは、山のふもとまでかけこの勝負を挑む。ウサギは余裕で居眠りを始め、その間にカメは着実に進みウサギに勝つ——この話は日本でも♪もしもしカメよカメさんよ～と童謡にもなっていて、誰でも知っている。

この有名な話の教訓は、「過信して油断をすると、物事を逃してしまう」、あるいは「歩みが遅くとも着実に進むことで、最終的に大きな成果を得ることができる」ということであろう。そこでは「**油断大敵**」や「**日々の努力の大切さ**」が強調されているが、この話の教訓をもとに、皆さんにはもう少し考えを深めていってほしい。

この話で私たちは、カメになることを暗に薦められているわけだが、そもそも鈍足のカメは、負ける確率の方がはるかに高いはずである。どうやって「**勝つかメ**」になるかを自分で考えなければならない。「**常勝カメ**」になるには努力が必要だということは、多くの人は分かっている。だから**どうやったらその努力ができるのかをさらに考えていく**必要があると思うのである。

カメが努力を続けることができた秘訣、その一つとして私は、カメが見ていたものがウサギと違って**いたことが挙げられるのではない**かと思う。ウサギは「**当面の相手**」を見ていたのに対し、カメは相手ではなく「**自分の目標やゴール**」を見据えていたはずである。「**なりたい自分になる**」という進路実現や志望校合格という受験のレースも、何も他人のやることを過度に気にすることは無い。自分が設定した**目標を常に見つめ、少しずつ、しかし確実に歩を進める**ことが大切である。

カメが勝ったのはゴールを見定めていたことが挙げられるが、それだけではない。ゴールを設定するだけで、ゴールの方が勝手に近づいてくるようなことはないからである。自らがゴールに向かって**行動を起こすには目標と共に方法をセット**で考えていく必要がある。方法を考えないままで夢に近づくことは難しく、多くの場合、その夢は「**絵に描いた餅**」で単に「**願い**」や「**あこがれ**」に終わることになる。きちんとしたスケジュールがあってはじめて、「**夢**」が単に願望ではなく具体的にめざすものとしての「**目標**」になるのであり、日々の生活の行動の確かな指針になるのである。



ゴールに向かう方法を考えると、**ゴールから逆算し、いつまでに何をやるという計画をもつ**ことである。成功するためのチェックポイントは、その計画が**SMARTS** (Specific : **具体的な**, Measurable : **測定可能な**, Attainable : **達成できる**, Realistic : **現実的な**, Time-bound : **期限を決めた**, Sacrifice : **犠牲**⇒ ゴール到達のために何かを犠牲にする覚悟をもった) になっているかの6つである。

夢に日付を打って、しっかり計画を立てること。さもなくば、冒頭のカメもおそらくはウサギとの勝負に負けていたのではないかと思うのである。

「少しずつ前に進んでいるという感覚は、人間としてすごく大事なもの」 (イチロー)